

▼兼近さんの周りにはいつも笑顔が



「チンドン隊の派手な衣装を着てお面をついたら、自然と笑顔になり楽しくなるんです。見ている人も笑顔で、やっている自分も笑顔。笑ってばかりでいるうちに、免疫力がついて元気になったと思っています」と話す兼近さんからは、笑顔が絶えません。

高森チンドン隊は、今や高森にとどまらず、富山県

「ウチーら、高森チンドン隊」にぎやかな鳴り物と奇抜な衣装で登場し、さまざまな芸で楽しませてくれる高森チンドン隊。個性豊かなメンバーをまとめるのが、隊長の兼近孝子さんです。

平成21年秋、高森天満宮のお祭りの存続の危機が新聞で報道されました。「寝耳に水だった」という兼近さん。生

まれ育った地元の危機に、商工会女性部の仲間とともに立ち上がります。「お金がなくて出来ないことがあるなら、自分たちでやってしまおう」高森チンドン隊の誕生でした。

兼近さんは、チンドン隊を立ち上げたその年に、二度目のがんの手術を受けました。しかしまったく落ち込むことはなかったと言います。

で開催された全日本チンドンコンクールへの出場、福島県の仮設住宅慰問など、活躍の場を大きく広げています。

兼近さんに今後の目標を聞きました。

「日本一のチンドン隊です。コンクールに参加し、刺激を受けました。どうしたら皆さんに喜んでもらえるか、もっと笑顔になってもらえるか、いろいろなことを勉強していきたいです」

子どもに人気のアニメのダンスを取り入れるなど、見る人を楽しませるための工夫と努力を惜しまない高森チンドン隊。兼近さんはこう続けました。

「でも私の根底にあるのは高森のまちを盛り上げたいという気持ち。それは昔も今も変わりません。次は周東を舞台にチンドンの衣装で皆さんとファッションショーを開きたいと思っています。楽しそうでしょ？」

満面の笑みで語る兼近さんに、こちらも自然と笑顔がこぼれました。



▲10月に俵山温泉で行われたチンドングランプリで初代グランプリに



▲第60回全日本チンドンコンクールに初出場し、意気込むメンバー



合言葉は
「笑いで世の中救おう！」

Vol.68

兼近 孝子さん
(周東町在住)

周東商工会女性部副部長を務めていた際に結成した「高森チンドン隊」の初代隊長を務める。高森のタカモリジエンヌを名乗り、和気あいあいとまちおこしに励んでいる。

